

# 長野地区社保協(社会保障推進協議会) ニュース



長野地区社保協は、社会保障についての相談窓口です。

社会保障制度の改善をめざして、労働組合、医療、福祉関連の諸団体、

市民団体、女性団体などが共同して運動をすすめる組織です。(活動地域：長野市、上水内郡)

長野地区社保協・活動報告

## 長野市の担当課と懇談

### 国民健康保険、後期高齢者医療、 介護保険、福祉医療について

長野地区社保協は11月17日、長野市の4課(国民健康保険課、高齢者活躍支援課、介護保険課、福祉政策課)と懇談を行いました。長野医療生協、長野地域民医労、長野民商、県退職教職員の会、年金者組合、長野県高齢協、新婦人から代表者が参加しています。



#### ●若い世代に顕著 国保料の滞納

令和3年度の国民健康保険料(国保料)の滞納は6,016世帯。その内43.5%が40~59歳であり、次いで23.4%が20~39歳であることが、国民健康保険課の回答で分かりました。

国保料滞納世帯・年齢別/令和4年3月末現在		
世帯主の年齢	世帯	%
~19歳	4	0.1
20~39歳	1,408	23.4
40~59歳	2,621	43.5
60~69歳	1,064	17.7
70歳~	919	15.3
合計	6,016	100.0

長野市の国保加入者(68,799人)の約半数は65歳以上です。しかし滞納しているのは若い世代が多い。若い世代の国保加入者は、国保料の納入に困難があることが予想されます。

#### ●コロナによる国保料減免 改善を

長野民商の相沢さんは、国保料の減免をもとめました。低所得の保険料軽減(注1)を受けている方が、コロナ減免(注2)を申請しても、減免の対象にならない実情を伝え、低所得の方こそ保険料を減免すべきではないかと訴えました。しかし国民健康保険課は、減免するという回答はありませんでした。

注1：前年中の所得額が一定基準以下の世帯は、保険料のうち均等割と平等割が軽減される。所得金額が43万円+10万円×(給与所得者の数-1)の場合は、7割軽減。ほか、5割・2割の軽減もある。

注2：新型コロナウイルス感染症の影響を受け3割以上の収入が減少した際の、申請による減免。前年の所得金額が300万円以下の場合は全額免除になる場合もある。

## ●後期保険料の滞納 低所得者めだつ

令和3年度の後期高齢者医療保険料の滞納者を所得別にみると、472人の滞納者のうち、258人が所得ゼロ（保険料算定に使用する所得）であることが、高齢者活躍支援課の回答で分かりました。

令和3年度後期高齢者医療保険料滞納者・所得別	
保険料算定に使用する所得	人
0円	258
1円～50万円以下	62
50万円～100万円以下	50
100万円～150万円以下	24
150万円～200万円以下	21
200万円～250万円以下	17
250万円～300万円以下	11
300万円～	29
合計	472

後期高齢者医療保険料の滞納者のうち、長野市では115人が有効期間の短い保険証（短期証）を発行されています（長野県保険医協会調べ）。なかには、1ヵ月証（13人）、3ヵ月証（50人）の方もいます。保険証は病院にかかる際に欠かせない「いのちのパスポート」です。保険料の滞納には短期証を発行するのではなく、納付相談を丁寧に行うことを、高齢者活躍支援課に要望しました。

## ●介護現場から 人材確保・処遇改善を

長野医療生協の成澤さん、長野県高齢協の新井さんは、介護事業の実情を伝え、人材確保や処遇改善を求め訴えました。高齢者活躍支援課より、人材確保の取り組みとして、離職対応のセミナーの開催を行っているという回答がありました。

## ●長野市介護保険の基金 残高31億円

長野市の介護保険の基金（介護給付費準備基金）は、残高31億円であることが、介護保険課の回答で分かりました。令和2年度末の残高は約22億500万円。9億円近くも増加しています。来年は第9期の介護保険料が検討される年です。積み立てた基金を取崩して、介護保険料を引き下げるよう要望しました。

（下：令和3年2月介護保険課記者会見資料）



## ●子ども医療費年齢の拡大 2月に答申

福祉政策課の回答で、子ども福祉医療費の拡充（15歳→18歳）は、社会福祉審議会に諮問し審議中であると分かりました。答申は2月に出され、その後内容をふまえて検討することです。県内の他市町村では18歳年度末までとするところが増え、15歳までの自治体は少数となっています。ぜひ、長野市でも早期の実現を、と要望しました。

## ●500円の受給者負担金 なくして

新婦人の森山さんは、500円の受給者負担金をなくすことを要望しました。病院、薬局、受診科ごとにかかる負担金。子どもの数が多ければ負担は大きくなります。安心して受診できるようお願いしたい、と訴えています。